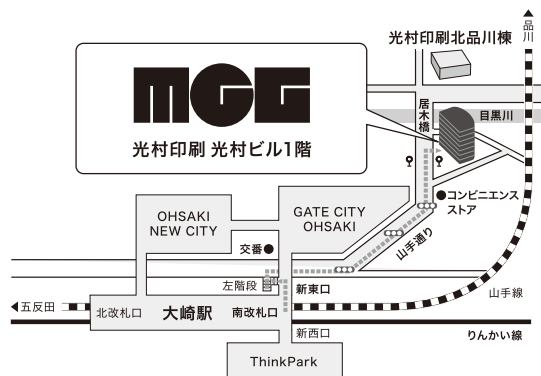




「エンドオブエンドレスホリデイ」 2021年



「エンドレスホリデイ」 2009年



アクセス

- JR/りんかい線「大崎駅」南改札新東口を出て、左階段を降りて山手通りを品川駅方向に徒歩6分。コンビニエンスストアを越えて、目黒川の手前が光村ビル。
- 東急バス(渋谷駅⇄大井町駅)「居木橋」前

光村グラフィック・ギャラリー(MGG)



〒141-8567 東京都品川区大崎1-15-9
光村ビル1F
TEL.03-3492-8689
<https://www.mitsumura.co.jp>

来場に関する注意事項/新型コロナウイルス対策



マスク着用での来場をお願いします。



入口での手指消毒、検温、「入館確認書」記入にご協力をお願いします。



ソーシャルディスタンスを保った鑑賞をお願いします。



37.5℃以上

体調不良での来場をお控えください。

光村印刷創業120周年記念展

perspective 阪本トクロウ

2021年10月1日(金) - 10月23日(土)

11:00~19:00 (週末は18:00まで) / 日曜休館 (10月10日のみ開館)

作家来場日:10月2日(土)、9日(土)、23日(土) 13:00~

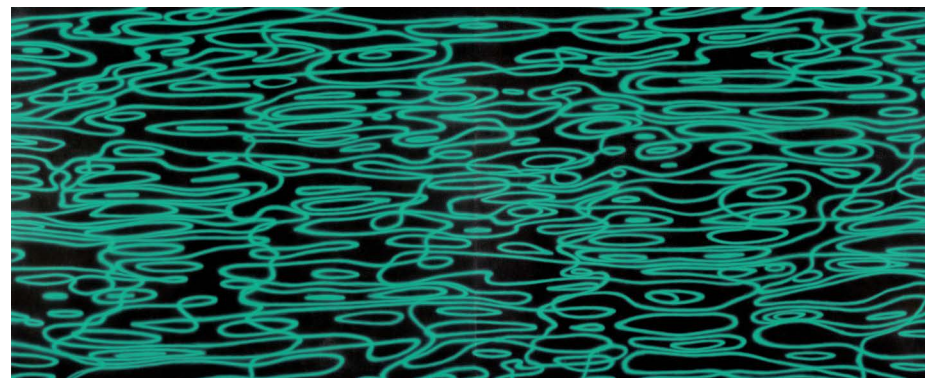
主催:光村印刷株式会社 / 協力:GALLERY MoMo



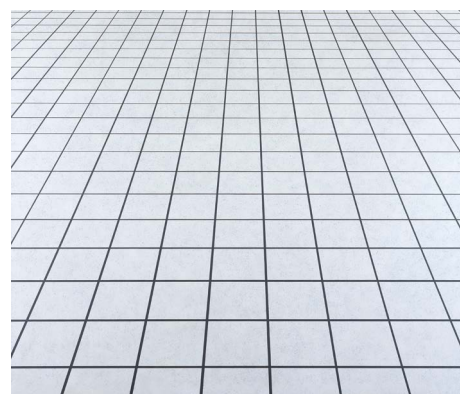
perspective 阪本トクロウ



「フロート」2014年



「水面」2014年



「呼吸」2016年



「呼吸」2021年

光村印刷は、2021年10月20日に創業120周年を迎えます。この節目の年を記念し、本年の当社カレンダーにおいて「現代の視点」という新たな企画を立ち上げました。これからのアートシーンを担う作家、キュレーター、光村印刷が、“今”伝えたいアートを、カレンダーを通じて皆様にご紹介する新シリーズです。

このシリーズの幕開けを飾ったのが、画家の阪本トクロウ氏です。阪本氏は、私たちの身近な、しかしどこにもないような静謐な場面を描き出します。その透き通るような絵画は、誰しもの心に寄り添うアートとして、日常を彩ってくれます。

その阪本氏と、このたび「perspective 阪本トクロウ」をMGGにて開催することとなりました。カレンダーでのつながりを大切なきっかけとして、当社の企業理念「ともにつくり、ともに伝える。」をめざし、あらためて展覧会をお届けできることを大変光栄に思います。どうぞ、阪本氏ならではの唯一無二の作品世界をお楽しみください。



阪本トクロウ (さかもと・とくろう)

1975年、山梨県生まれ。1999年、東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。2001年、早見芸術学園日本画専攻卒業。2000年から日常の風景をモチーフとする作品を制作。以降、個展・グループ展を中心に、数々のギャラリー、美術館、アートフェアなどで作品を発表。受賞歴に、「トーキョーワンダーウォール2005」（2005年）入選、「第3回東山魁夷記念日経日本画大賞展」（2006年）入選など。現代美術、日本画の領域で活動し、独自の視点・視線に基づいて制作される作品が、国内外で高い評価を受けている。